



高大連携協定調印式 キックオフイベントに参加しました。



2-2 北田さん(泗水中出身) 2-5 野見山さん(山鹿中出身)

9月16日、熊本保健科学大学との高大連携協定の調印式に、鹿本高校の代表として2年生2名が参加しました。

調印式の後、新千円札の肖像となる北里柴三郎博士のひ孫にあたる北里英郎氏(北里柴三郎記念館館長、北里大学名誉教授)によるミニ講演会がありました。

講演会では、北里柴三郎氏に影響を与えた3人の恩師のお話を通じて、柴三郎氏の生きざまを語られました。

県内のSSH指定校5校の代表生徒による課題研究報告会では、本校の野見山さんが、「日本の放射線治療の現状」と題して、インタビューからわかったことや外国との比較などのデータを示しながら、様々な視点から考察した放射線治療の現状を発表。

聴講した高校、大学の先生方から、とても興味深い研究との好評価を頂きました。



大講義室での発表の様子



テレビの取材もありました。

参加後、二人は「今回参加して、たくさんのお話を聞くことができました。他校生の研究の中に、自分の研究の参考になるものがたくさんありました。柴三郎先生が信念にされていた「終始一貫」を大事にして、よりよい研究にしていきたいと思っております。」と話していました。